

[防災みえ] で検索

防災みえ.jp [<http://www.bosaimie.jp/>]

└ みえの防災

└ 【各種防災関連報告書】 ← [クリック]

被害想定

└ 【三重県地震被害想定調査結果（平成25年度版）】 ← [クリック]

└ 地震被害想定結果（リスク（被害）関係）の概要

└ 【地震被害想定結果（数表等）】 ← [クリック]

当該報告書の「過去最大クラスの南海トラフ地震における被害想定」で被害が最大となるものを想定とする。

三重県 地震被害想定結果 （数表等）

全壊・焼失棟数	：	p. 2
死傷者数	：	p. 17
重傷者数	：	p. 18
軽傷者数	：	p. 19
自力脱出困難者	：	p. 41（昼）
避難者数	：	p. 65
医療対応力不足	：	p. 75
日常受療困難者数	：	p. 83

平成26年3月

三重県防災対策部

表Ⅰ－１．２ 過去最大クラスの南海トラフ地震における全壊・焼失棟数(冬夕発災)

地域区分	市町名	全壊・焼失棟数					
		揺れ	液状化	津波	急傾斜地等	火災	合計
北勢	桑名市	約 500	約 1,200	約 4,900	約 10	約 10	約 6,600
	いなべ市	約 10	－	－	－	－	約 20
	木曽岬町	約 50	約 50	約 2,000	－	－	約 2,100
	東員町	約 20	約 40	－	－	－	約 50
	四日市市	約 900	約 900	約 500	約 10	約 100	約 2,400
	菰野町	約 10	－	－	－	－	約 20
	朝日町	約 30	約 50	約 10	－	－	約 90
	川越町	約 80	約 200	約 900	－	－	約 1,200
	鈴鹿市	約 400	約 100	約 100	－	約 20	約 700
	亀山市	約 40	約 10	－	－	－	約 50
	(小計)	約 2,000	約 2,500	約 8,500	約 20	約 200	約 13,000
県計		約 23,000	約 5,900	約 38,000	約 700	約 2,100	約 70,000

－:わずか(5未満)[以降同じ]

p.2

表Ⅰ－２．１ 過去最大クラスの南海トラフ地震における死者数
〔早期避難率低〕

地域区分	市町名	建物倒壊 (うち屋内収容 物移動・転倒、 屋内落下物)		津波 (うち自力 脱出困難)		急傾斜地 崩壊等	火災	ブロック塀・自 動販売機の転 倒、屋外落下 物	合計
北勢	桑名市	約 20	－	約 500	約 10	約 500	－	－	約 600
	いなべ市	－	－	－	－	－	－	－	－
	木曽岬町	－	－	約 400	－	約 300	－	－	約 400
	東員町	－	－	－	－	－	－	－	－
	四日市市	約 40	－	約 200	約 10	約 200	－	－	約 200
	菰野町	－	－	－	－	－	－	－	－
	朝日町	－	－	－	－	－	－	－	－
	川越町	－	－	約 90	約 10	約 90	－	－	約 100
	鈴鹿市	約 20	－	約 100	－	約 100	－	－	約 200
	亀山市	－	－	－	－	－	－	－	－
	(小計)	約 80	約 10	約 1,300	約 40	約 1,300	－	－	約 1,400
県計		約 1,400	約 70	約 32,000	約 700	約 31,000	約 60	－	約 34,000

冬深夜発災ケース

p.17

表Ⅰ－２．２ 過去最大クラスの南海トラフ地震における重傷者数
〔早期避難率低〕

地域区分	市町名	建物倒壊 (うち屋内収容 物移動・転倒、 屋内落下物)		津波	急傾斜地 崩壊等	火災	ブロック塀・自 動販売機の転 倒、屋外落下 物	合計
北勢	桑名市	約 50	約 10	－	－	－	－	約 50
	いなべ市	－	－	－	－	－	－	－
	木曽岬町	約 10	－	－	－	－	－	約 10
	東員町	－	－	－	－	－	－	－
	四日市市	約 100	約 30	約 20	－	－	－	約 100
	菰野町	－	－	－	－	－	－	－
	朝日町	－	－	－	－	－	－	－
	川越町	約 10	－	－	－	－	－	約 10
	鈴鹿市	約 40	約 20	約 10	－	－	－	約 60
	亀山市	－	－	－	－	－	－	－
	(小計)	約 200	約 70	約 40	－	－	－	約 300
県計		約 2,300	約 300	約 400	約 40	－	－	約 2,800

冬深夜発災ケース

p.18

表 I-2.3 過去最大クラスの南海トラフ地震における軽傷者数
〔早期避難率低〕

地域区分	市町名	建物倒壊 (うち屋内収容物移動・転倒、 屋内落下物)		津波	急傾斜地 崩壊等	火災	ブロック塀・自 動販売機の転 倒、屋外落下 物	合計
北勢	桑名市	約 500	約 60	—	—	—	—	約 500
	いなべ市	約 30	約 10	—	—	—	—	約 30
	木曽岬町	約 50	—	—	—	—	—	約 50
	東員町	約 30	約 10	—	—	—	—	約 30
	四日市市	約 1,100	約 100	約 50	—	—	—	約 1,100
	菰野町	約 40	約 10	—	—	—	—	約 40
	朝日町	約 40	—	—	—	—	—	約 40
	川越町	約 80	約 10	—	—	—	—	約 90
	鈴鹿市	約 700	約 90	約 30	—	—	—	約 700
	亀山市	約 90	約 20	—	—	—	—	約 90
	(小計)	約 2,700	約 400	約 80	—	—	—	約 2,700
県計		約 15,000	約 1,400	約 800	約 40	—	—	約 15,000

冬深夜発災ケース

p.19

I-3. 建物倒壊等による自力脱出困難者

表 I-3.1 過去最大クラスの南海トラフ地震における自力脱出困難者数

地域区分	市町名	自力脱出困難者数		
		深夜	昼	夕
北勢	桑名市	約 100	約 200	約 100
	いなべ市	—	約 10	—
	木曽岬町	約 10	約 10	約 10
	東員町	—	約 10	—
	四日市市	約 300	約 300	約 300
	菰野町	—	約 10	—
	朝日町	約 10	約 10	約 10
	川越町	約 20	約 30	約 20
	鈴鹿市	約 100	約 100	約 100
	亀山市	約 10	約 20	約 10
	(小計)	約 600	約 700	約 600
県計		約 4,700	約 3,700	約 4,100

p.41

表 IV-1.1 過去最大クラスの南海トラフ地震における避難者数(冬夕発災)

地域区分	市町名	1日後			1週間後			1ヶ月後		
		避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外
北勢	桑名市	約 57,000	約 37,000	約 20,000	約 42,000	約 26,000	約 15,000	約 52,000	約 16,000	約 36,000
	いなべ市	約 70	約 40	約 30	約 5,400	約 2,700	約 2,700	約 6,400	約 1,900	約 4,500
	木曽岬町	約 6,600	約 4,400	約 2,200	約 5,100	約 4,400	約 700	約 6,400	約 1,900	約 4,500
	東員町	約 200	約 100	約 70	約 3,900	約 1,900	約 1,900	約 200	約 50	約 100
	四日市市	約 39,000	約 26,000	約 14,000	約 63,000	約 34,000	約 29,000	約 24,000	約 7,300	約 17,000
	菰野町	約 90	約 60	約 40	約 4,600	約 2,300	約 2,300	約 90	約 30	約 70
	朝日町	約 800	約 500	約 300	約 2,600	約 1,400	約 1,200	約 7,500	約 2,300	約 5,300
	川越町	約 12,000	約 8,000	約 4,100	約 6,400	約 5,200	約 1,100	約 12,000	約 3,600	約 8,300
	鈴鹿市	約 18,000	約 12,000	約 6,300	約 35,000	約 19,000	約 17,000	約 3,900	約 1,200	約 2,700
	亀山市	約 300	約 200	約 100	約 6,000	約 3,000	約 3,000	約 300	約 80	約 200
	(小計)	約 135,000	約 88,000	約 47,000	約 174,000	約 100,000	約 74,000	約 113,000	約 34,000	約 79,000
県計		約 411,000	約 267,000	約 144,000	約 447,000	約 264,000	約 183,000	約 480,000	約 144,000	約 336,000

p.65

IV-4. 医療機能支障

※このページの想定数は、各種調査資料を機械的に積み上げて出した数字のため、知見とは異なる場合があります。
あくまで、訓練の想定としてお考えください。

1 医療対応力不足数

表 IV-4.1 過去最大クラスの南海トラフ地震における医療対応力不足数
(冬深夜発災ケース)

二次医療圏	市町名	対応可能入院患者数	要転院患者数	重傷者数 +病院死者数	対応可能外来患者数	軽傷者数	医療対応力不足数	
							入院対応	外来対応
北勢	四日市市	約500	約100	約100	約4,800	約1,100	—	—
	桑名市	約200	約90	約100	約1,400	約500	約20	—
	鈴鹿市	約300	約60	約70	約2,700	約700	—	—
	亀山市	約40	約10	—	約300	約90	—	—
	いなべ市	約80	約10	—	約700	約30	—	—
	木曽岬町	—	—	約40	約10	約50	約40	約40
	東員町	—	—	—	約200	約30	—	—
	菰野町	約40	約20	—	約300	約40	—	—
	朝日町	—	—	—	約30	約40	—	約10
	川越町	—	約10	約20	約20	約90	約30	約70
	(小計)	約1,100	約300	約400	約10,000	約2,700	約90	約100
中勢伊賀	津市	約600	約200	約300	約4,000	約1,500	—	—
	名張市	約80	約10	—	約400	約40	—	—
	伊賀市	約200	約40	—	約600	約90	—	—
	(小計)	約800	約300	約300	約5,000	約1,600	—	—
県計		約2,800	約800	約6,200	約22,000	約15,000	約4,900	約5,600

※災害拠点病院及び災害医療支援病院が機能する場合

※市町間の医療搬送等は考慮していない

※対応可能入院患者数、対応可能外来患者数は、平成24年医療施設(動態)調査、平成24年病院報告、平成22年医師・歯科医師・看護師調査等をもとに設定

p.75

※このページの想定数は、各種調査資料を機械的に積み上げて出した数字のため、知見とは異なる場合があります。
あくまで、訓練の想定としてお考えください。

3 日常受療困難者数

表 IV-4.9 過去最大クラスの南海トラフ地震における日常受療困難者数
(冬深夜発災ケース)

二次医療圏	市町名	日常受療困難者数 (建物被害、火災被害による医療機能低下による)			
		計	入院	外来	出生
北勢	四日市市	約4,800	約500	約4,300	—
	桑名市	約3,600	約500	約3,100	—
	鈴鹿市	約2,200	約100	約2,100	—
	亀山市	約400	約30	約300	—
	いなべ市	約40	—	約40	—
	木曽岬町	約600	約90	約500	—
	東員町	約200	約30	約200	—
	菰野町	約200	約40	約200	—
	朝日町	約100	約20	約100	—
	川越町	約800	約100	約600	—
	(小計)	約13,000	約1,400	約12,000	—
中勢伊賀	津市	約6,000	約600	約5,300	—
	名張市	約300	—	約300	—
	伊賀市	約500	約30	約500	—
	(小計)	約6,800	約700	約6,100	—
県計		約37,000	約3,900	約33,000	約10

※災害拠点病院及び災害医療支援病院が機能する場合

p.83